

## 理学療法士を迎えての リハビリテーションサービス開始

介護保険制度の導入により、心身機能の維持・向上を目的としたリハビリテーション（以下リハビリ）が重要な位置を占めてきている。特に急性期から回復期における適切なリハビリの実施の有無は、その後のQOLを大きく左右するといわれる。現在のところ、総合病院でもリハビリテーション科を独立して設置している病院は少なく、リハビリサービスの普及は、日本の医療・福祉を考える上での緊急課題になっている。

平成十二年四月十九日より、唐川秀明理学療法士（週一回の来院）を迎えてのリハビリ活動を開始した。脳梗塞・大腿部骨折・長期入院に伴う日常生活動作の低下



病棟でのリハビリテーション

等、対象となる患者さんは多種多様であり、個々の患者さんに適したリハビリが設定されている。実際の稼働プロセスとして、①ドクターがリハビリ指示箋を発行する

②その指示箋を基に、理学療法士（PT）が対象となる患者さんと面接の上、リハビリ評価サマリーを作成し、訓練プログラムを考案・実施する③一週間後にリハビリの再評価を行い、報告書を担当ドクターに戻す、という方式がとられている。尚、理学療法士の他、職員の小林理学療法助手がプログラムの実施にあたっている。

### 最新の超音波装置導入

現在、病棟・外来に加えて、在宅療養されている患者さんへの訪問リハビリも開始され、今後の地域リハビリ活動の拡大が期待される。

三月二十七日より、当院にて東芝POWER VISIONが導入された。



検査室に導入された最新の超音波装置

### ホームページほぼ完成

昨年六月一日に開設した玄々堂君津病院のホームページは一年経過し、二層内容の充実が図られた。（二面に関連記事）

### 中学生職場体験学習始まる

六月二十一日・二十二日に小糸中学校、七月十二日・十四日に周西中学校の生徒による職場体験学習が

入された。この機械は最新のデジタル画像処理により、高分解能と高感度を両立し、カラードップラー情報を備えている。これにより、シャープな画像で診断精度の高い情報が得られるようになった。



小糸中学生的の職場体験学習

行われた。体験学習する前と後での病院のイメージは違っていたようで、見えない所で働く人達の苦勞など実感した様子だった。（中学生の感想を三面に掲載）

### 外来待合室に本棚設置

四月より、患者さんからの投書



“皆さんの声”により設置された本棚

### ホスピタルマナー委員会 取り組み内容変更

今年度よりホスピタルマナー委員会の取り組み内容が変わった。医局代表の先生の参加を求め、時間に午後三時～五時を午後四時半～六時に変更した。又部課長への協力の呼びかけの為に、まず第一回目のセミナーとして、管理職者向けのセミナーが五月二十五日に開催された。江藤かをる先生を講師に招き「患者満足を生み出すサービスマナー」と題して講演が行われた。

### 病院機能評価 事前サーベイ受ける

財団「日本機能評価機構」の目的は、医療機関の第三者評価を行い、医療機関が質の高い医療サービスを提供していくための支援を

希望に応じて、外来待合室に本棚が設置された。

### 新入職員歓迎ハイキング 総勢三八一名参加

五月二十一日、恒例の新入職員歓迎ハイキングが行われた。今年参加の中、各コースに分かれ佐貫駅より目的地のマザー牧場を目指した。到着後は、会場にて永年勤続職員の表彰、新入職員の紹介を行いながらジンギスカン料理を満喫した。

## 超音波診断の現状



臨床検査科 技師長 岩松勝實

超音波診断は、当院では一九七九年十一月に新設され二十年が過ぎました。この二十一年間で急速な発展進歩を遂げました。が、当時はまだ一般には普及しておらず、超音波の専門家がいない時代でした。超音波診断装置もリア電子スキャン装置の走り、いまの診断装置に

比べるとモニターも小さく画質も悪いものでありましたが、当時としては画期的な装置でした。このグレイスケール表示のリア電子スキャン装置は一九七五年に実用化されましたが、その後装置の改良が進み、超音波深部子も周波数の高いものが開発され、診断精度の高い超音波断層像が得られるようになりました。そして、超音波の画質と操作性の向上したリアルタイムの超音波診断装置の

臨床検査科 技師長 岩松勝實  
 比るとモニターも小さく画質も悪いものでありましたが、当時としては画期的な装置でした。このグレイスケール表示のリア電子スキャン装置は一九七五年に実用化されましたが、その後装置の改良が進み、超音波深部子も周波数の高いものが開発され、診断精度の高い超音波断層像が得られるようになりました。そして、超音波の画質と操作性の向上したリアルタイムの超音波診断装置の

検査手法としては一般的な経腹壁の検査法のほか、体腔内検査法である超音波内視鏡、泌尿器科領域の経膈検査法、婦人科領域の経膈検査法や心臓・血管・腫瘍などの血流の有無や流速測定のパルス・連続波・カラーの各ドップラー検査法、侵襲的・観血的検査法ではあるが病巣を断層像の監視下で行う超音波穿刺術、動脈硬化性

病変等の描出に血管内超音波法、腫瘍を造影し鑑別する造影エコー法など、この他にも新技術が研究開発され診断治療に活用されています。  
 近年の超音波診断装置には3D（立体表示）ができるものやデジタル診断装置にティッシュモニター機能など多彩な機能装備により、よりシャープで診断精度の高い画像が得られるようになりました。当院でも最新のデジタル診断装置を導入、信頼性の高い診断情報を提供し、診断治療に超音波検査は活躍しています。

## 第四次安全対策講演会開催

七月六日当院大会議室において、職員一〇八名の参加のもと、第四次安全対策講演会が行われた。今回は君津製鐵所安全健康マネージャーの佐々健剛氏を迎え、「君津製鐵所における安全活動」と題し安全対策の取り組みの現状を講演して頂いた。

はじめに、君津製鐵所の概要と安全管理上の特徴が述べられ、災害（事故）の実態・未然防止活動・各職場の安全活動の紹介等、盛り沢山の具体的な内容が紹介された。なかでも、これからの安全活動として、「人間の心理（ヒューマンファクター）に踏み込み、人間の持つ不確定要素を前提とした諸施策の展開（ヒューマンエラー）は人間はミスをする動物」という発想から生ずる具体的な対策であり、すべての職業に通ずるものと考えられる。

病院とは違った視点から、企業での事故を起こさないための具体的な方策が各職場毎にとられており、今後の当院の安全対策に対する取り組みに取り入れていかなければならない意義深い講演であった。

### 講演会の講師として参加

講演会名	開催日	演者	演題名
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 東葛南部地区部会	2000.4.22	板倉裕子	介護保険下における訪問看護ステーションの役割
福寿草の会&玄々堂君津病院家族看護学研究会	2000.6.17	板倉裕子	病気に負けない家族～介護体験から学ぶ～家族介護をサポートしている訪問看護ステーションの立場から
周南公民館 女性のための健康講座	2000.7.1	大神ヨシ子	女性に多い病気とその健康管理について
千葉県看護協会 君津地区部会	2000.7.14	板倉裕子	在宅及び施設の役割と連携について



一度アクセスしてみてください！

# 玄々堂君津病院 ホームページ

玄々堂君津病院のホームページを開設して一年が経過しました。地域に根ざした医療を基本方針とする君津病院のホームページは、全て病院スタッフの手により作られています。逐一手直しがなされだんだんホームページらしくなってきました。今回は、開設から現在までの主だった変化を紹介いたします。

玄々堂君津病院のホームページを開くと始めに入口からみた病院の写真が見られます。(写真1)

写真の下には各ページをみるためのメニュー、外来診療の案内と続いています。(写真2)

昨年は秋に看護婦募集のページを開き、今年二月には入院案内のページを、五月には総合案内隣の医療情報コーナーのページを公開しました。

看護婦募集のページは、創造性ある看護をしてみませんか？のタイトルで始まる平成十二年看護婦(士)募集のパンフレットを模してつくられています。(写真3)



写真1



写真2

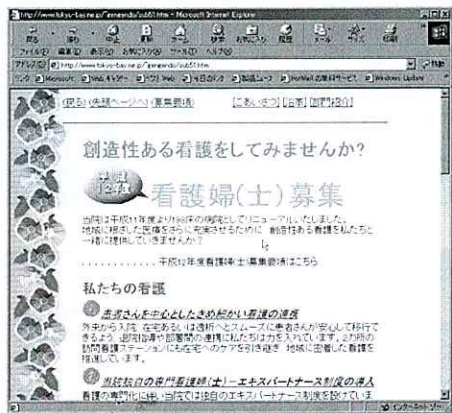


写真3

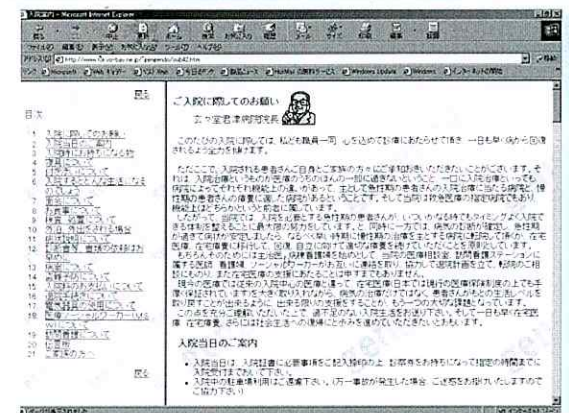


写真4

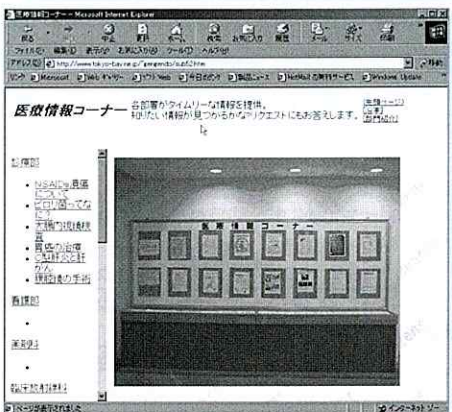


写真5

入院案内のページは同じく入院案内のパンフレットを基につくられています。入院時に渡されるパンフレットは小冊子になっているので、このページはフレームが使われ、実際に小冊子を開いたのと同じように読むことができます。(写真4)

外来で待合時間に読まれ好評な医療情報コーナーも、五月より順次公開されています。(写真5) 医療情報コーナーは各部署でタイムリーな話題をA4サイズ用紙一枚にまとめてあります。こちらもフレームページになっており、読みたい用紙を選択する感じで見ることが出来ます。また、部署ごとに

外來ブースの医療情報コーナーを、ご存じでしょうか。ここには患者さんやいろいろな部署の人を対象に、病院職員手作りのパンフレットがおいてあります。(私たちは通称ミニコミ紙と呼んでいます。)重要連絡というよりは、何かの役に

## ミニコミ紙の紹介

外來ブースの医療情報コーナーを、ご存じでしょうか。ここには患者さんやいろいろな部署の人を対象に、病院職員手作りのパンフレットがおいてあります。(私たちは通称ミニコミ紙と呼んでいます。)重要連絡というよりは、何かの役に

に立って、という気持ちから、いろいろな部門の専門家が情報を提供しています。病気のことから健康や栄養のこと、病院に新しく導入した機械や治療法、そして個人的に主催する健康や看護に関する講演会までさまざまな情報を提示していくつもりです。今までは一方通行の情報提供でしたが、これから患者さんをはじめとする読者の方の要望に沿ったパンフレットを、それぞれの専門家において作ってもらおうと思っています。ですから、これを読んで

ただいまの皆さんにはぜひ「こんな情報がほしい」とか、「どの分野の人にどんなことを聞きたい」といった意見をどんどん出して欲しいと思います。具体的には皆様の声という投書箱に意見を入れてください。私のほうから担当者にお願ひして情報を提供したいと思います。将来はこんな形から、医療情報に関するコミュニケーションの場としていけたらと夢を抱いている担当者であります。



http://www.tokyo-hospital.jp/gengendo/

「ふくらはぎは第二の心臓」 皆さんは「心臓」が血液を体内に送る大切なポンプであるという事はご存じだと思います。しかし、「ふくらはぎ」にも心臓と同じく血液の循環を助ける働きがあることをご存じだったでしょうか？動脈を流れる血液は心臓の力で送られますが、毛細血管を越えて静脈の血液まで送る力は心臓にもありません。それではなぜ血液

逆には血流が増大した状態と考えると、(かかと)を浮かせるような動作をしてみると、ふくらはぎのポンプが働き、血行がよくなります。立ったままでじっとしている場合浮腫は助長され、血液の循環不全は機能回復を遅らせる原因にもなりますし、ひどくなると痛みを発生することもありますので、できれば浮腫は予防もしくは軽減したいものです。それでは足のむくみを予防・改善する方法をお話致します。ここまでの内容でその答えがわかってしまった方もいらっしゃるかも知れませんが、簡単に申しますと、先ほど申しました「ふくらはぎのポンプをうまく使ってあげる」ということなのです。ふくらはぎの筋肉は足首を伸ばす時に(つま先立ちをするような動きで)収縮して、ポンプの働きをするという動作を頭に入れておいて下さい。

「健康な方を含みます」についてお話しします。歩く時は必ず筋肉の収縮を伴っているため、それ程問題ないのですが、立っている場合少し体重を前後左右に動かした

り、ちよつとだけ踵(かかと)を浮かせるような動作をしてみると、ふくらはぎのポンプが働き、血行がよくなります。立ったままでじっとしている場合浮腫は助長され、血液の循環不全は機能回復を遅らせる原因にもなりますし、ひどくなると痛みを発生することもありますので、できれば浮腫は予防もしくは軽減したいものです。それでは足のむくみを予防・改善する方法をお話致します。ここまでの内容でその答えがわかってしまった方もいらっしゃるかも知れませんが、簡単に申しますと、先ほど申しました「ふくらはぎのポンプをうまく使ってあげる」ということなのです。ふくらはぎの筋肉は足首を伸ばす時に(つま先立ちをするような動きで)収縮して、ポンプの働きをするという動作を頭に入れておいて下さい。

つまずき立ちなります。①と②を交互に繰り返すことで足の血行を良くしていくのです。注意点としては、あまり力を込めてやらないことです。楽な気持ちでリズム良く行うことが肝心です。できれば数多くできた方がいいですね。最初は五十〜百回を目標に、それを気が向いた時に一日何回か行ってみて下さい。慣れてきたら、五分とか十分とか時間を増やしていくといいでしょう。

それから、寝たきりで椅子に腰掛けることもできない方は、布団をめぐって(少し力がある場合は布団の中でも結構です)足首を自分の力で動かすといえます。ほんのわずかでも「やる」「やる」「やる」か「やらない」「やらない」で大違いですから、家族の方も声掛け・介助をしながら運動を促してあげて下さい。動作としては非常に簡単なものですが、あとはちよつとこころがけが付いた時に行うだけです。(それが一番難しいことですが)三日坊主にならないように頑張ってください。

## 家庭でできる リハビリテーション



理学療法士 唐川 秀明

テーマは「家庭でできるリハビリテーション」ということですが、いわゆる「病氣」「ケガ」「障害」等をお持ちの方の機能回復だけではなく、健康と思われている方々の機能維持・病氣の予防も含めて、簡単なお話をしたいと思います。

「ふくらはぎは第二の心臓」 皆さんは「心臓」が血液を体内に送る大切なポンプであるという事はご存じだと思います。しかし、「ふくらはぎ」にも心臓と同じく血液の循環を助ける働きがあることをご存じだったでしょうか？動脈を流れる血液は心臓の力で送られますが、毛細血管を越えて静脈の血液まで送る力は心臓にもありません。それではなぜ血液

逆には血流が増大した状態と考えると、(かかと)を浮かせるような動作をしてみると、ふくらはぎのポンプが働き、血行がよくなります。立ったままでじっとしている場合浮腫は助長され、血液の循環不全は機能回復を遅らせる原因にもなりますし、ひどくなると痛みを発生することもありますので、できれば浮腫は予防もしくは軽減したいものです。それでは足のむくみを予防・改善する方法をお話致します。ここまでの内容でその答えがわかってしまった方もいらっしゃるかも知れませんが、簡単に申しますと、先ほど申しました「ふくらはぎのポンプをうまく使ってあげる」ということなのです。ふくらはぎの筋肉は足首を伸ばす時に(つま先立ちをするような動きで)収縮して、ポンプの働きをするという動作を頭に入れておいて下さい。

つまずき立ちなります。①と②を交互に繰り返すことで足の血行を良くしていくのです。注意点としては、あまり力を込めてやらないことです。楽な気持ちでリズム良く行うことが肝心です。できれば数多くできた方がいいですね。最初は五十〜百回を目標に、それを気が向いた時に一日何回か行ってみて下さい。慣れてきたら、五分とか十分とか時間を増やしていくといいでしょう。

それから、寝たきりで椅子に腰掛けることもできない方は、布団をめぐって(少し力がある場合は布団の中でも結構です)足首を自分の力で動かすといえます。ほんのわずかでも「やる」「やる」「やる」か「やらない」「やらない」で大違いですから、家族の方も声掛け・介助をしながら運動を促してあげて下さい。動作としては非常に簡単なものですが、あとはちよつとこころがけが付いた時に行うだけです。(それが一番難しいことですが)三日坊主にならないように頑張ってください。



# シリーズ”病気を考える“ 血管外科の話

28

診療部長

永島 嘉嗣



## 血管外科とは

血管外科というのは一般にはあまりなじみのない分野かもしれませんが、以前はよく人から心臓の手術をなさるのですかと聞かれました。そんな質問に心臓の手術はしないのだと答えるとき、自分がやや卑屈な笑いを浮かべ、相手も少しガッカリするというのが十年前頃までの慣例でした。その後多少は自分の技術にも自信がもてるようになり、血管外科をやっているよかったですと思えるようになりました。血管外科とは動脈や静脈の病気を扱う領域で、心臓外科とは異なります。現在では外科医の技術の向上のためには血管外科の手術の習得が不可欠であると考えています。何の手術でも目の前にある血管を結んで切るという手技だけでは限界があります。血管をある程度自由に切断し、吻合できるということは手術の自由度を大きく上げます。当院で透析患者さんに年間二〇〇例以上行われている内シャント手術にも血管外科の手術が活かされています。そういうわけで、日々この手術に励んでいる当院の外科医たちは皆、この外科医にとって大切な血管外科の手術に習熟しています。

## 血管外科の歴史

日本で最初の腹部大動脈瘤手術は、高田名譽院長、茅野院長の出身である東大第二外科で行われています。一九五二年といいますが、高田名譽院長が大学入学間もない頃のことです。ちなみにこの手術は大成功で、世界でも二番目の成功例であると聞いています。グラフトはヒトの大動脈にアルコール処理を施したものであったそうです。世界に先駆けたこのような立派な業績はあるのですが、その後の進歩は欧米に後れをとったようです。高田名譽院長、茅野院長から昔の血管外科手術の話を伺うとあまりいい思い出がないといわれます。長い手術時間、おびただしい出血量、手術後の合併症、先輩たちはずいぶん苦労されたのだと思います。その後人工血管や血管縫合糸の材質の向上、手技の発達、過去の手術成績の検討から治療方針が正確に決められるようになったことなどから、私が血管外科を志した一九八五年頃には末梢血管手術はある程度完成されていたといえると思います。さらに手術をしなかった患者さんの長期的な予後が次第に判明し、手術以外の治療法も進歩して、現在ではどのような場合にどういう治療法を選択すべきか、治療しない場合どうなるかということが、かなり正確に判断できるようになりました。

日本でも最近ようやくインフォームドコンセントがいわゆるようになりましたが、血管外科では

とも行われていたことでした。特に隠すような病気ではありませぬので、現在の病気の状態、今後どうなるのか、ある治療法を選択した場合何年後にどうなっているのかをわかる範囲で説明し、治療法を患者さんに選択してもらおうというのが私のスタンスです。

次に血管疾患の代表的なものをいくつかあげて説明します。

## 閉塞性動脈硬化症

腹部や手足の動脈が動脈硬化によりつまったり、狭くなってしまう病気です。症状としては手足が異常に冷える、あるいは歩行中にふくらはぎや太ももが痛くなったり、歩けなくなる、就寝中に足がふる、痛み出すなどといったものです。血管が閉塞してしまつたからといってすぐにつき直さなければいけないというものではありません。大事なことは虚血の程度（血流の悪さの程度）から手術の必要度を正確に判断し、また必要であれば血管造影の検査を行い治療法を的確に決定することです。一般には安静時の痛み、皮膚潰瘍、壊死などがあれば何らかの外科的治療を行うのがよいとされています。次に当院の患者さんの血管造影写真を示します（写真1）。



閉塞した動脈

この患者さんは足にすでに壊死をおこしておりました。血行再建手術により足の痛みは消失し現在は外来通院しております。

## 腹部大動脈瘤

腹部大動脈という大きな動脈に動脈瘤（コブ）ができる有名な病気です。動脈瘤があるというだけでは無症状のことが多いのですが、ある意味で非常に危険な病気です。何故ならば、動脈の壁が薄くもろくなつてコブを作っているわけですから破裂することがあり、その場合死亡率が非常に高くなってしまうのです。破裂の程度、形態などで差はありますが、手術前に心停止を来すような場合は今でもなかなか助かりません。一般に直径5cmを越える場合は破裂により命を失う可能性が高いので手術をしたほうがよいといわれています。当院では最近マルチスライスCTが導入され（写真2）、動脈瘤の形態が非常によくわかるようになりまし

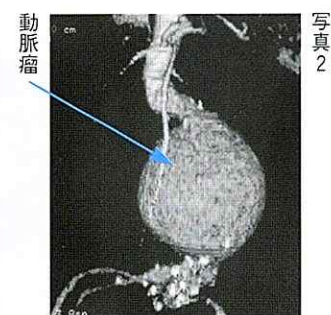


写真2

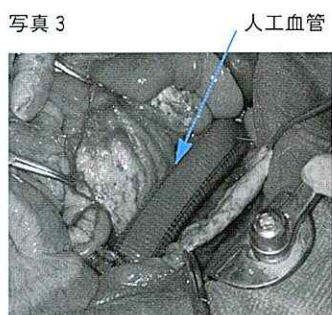


写真3

た。手術は動脈瘤を開き人工血管で置き換えます（写真3）。こうすることで動脈の圧が直接瘤壁にかからなくなるため、破裂の危険がなくなります。なお腹部大動脈手術に伴う心合

## 投書箱の内容紹介

日頃から投書箱に寄せられたものについては真摯に取り組んでおりますが、今回はその一部を紹介致します。

駐車場の整備を要望します。アスファルトにするか、せめて砂利を敷いて欲しい。

平成十二年二月に患者さんの駐車場をすべて舗装しました。待つている時に本が読みたい。できれば本を置いて欲しい。

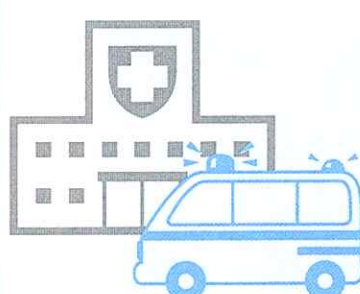
平成十二年四月に外来待合室に本棚を設置しました。難聴なので外来診察の呼び出し

時々行っていますが、良い結果を得ています。

## 職場体験学習に参加して 小糸中学生の感想より

病院は、先生と看護婦で成り立っているイメージがありました。陰で掃除をしていたり、食事を作っていたり、食事を準備したり、分担された仕事をきちんとこなして病院が成り立っているんだと思いました。

検査室で自分の内臓が見れた事や透視室を見学した時に機械を修理していたのが技士さんだったのでビックリしました。



下肢静脈瘤  
静脈には逆流をおこさないように弁がついています。この弁が何らかの原因で逆流をおこすようになると静脈瘤という状態になり、下肢（足）に静脈の怒張、色素沈着などをおこすようになります。ひどい場合にはうっ血により皮膚に潰瘍をおこすことがあります。やっかいな病気ですが命に関わることはあまりありません。手術は逆流をおこしている静脈の切除や結紮が行われます。数年前硬化療法という注射による治療が保険適用になりました。一時ブームになりましたが再発率が高く、年齢、重症度などで治療法を選択しています。手術以外に専用のストッキングによる治療があります。

## 趣味の欄

パラグライダーとの出会い  
3B病棟 宮田和加子

“ガッ”と突然何か私の頭にぶつかった。目から火花がでるとい言葉は正しいんだ。・・・と思

いながら、地面に倒れてしばらく起きあがれなかった。

それは、パラグライダー一日体験の日。上から飛んできた人が、うまくコントロールできずに、私にぶつかってきたのだ。



空中散歩で気分は最高！

後、私はスクールに入校するのだ。山の上を優雅に飛んでいる、パラグライダーを見たことがある人

もいると思う。条件によっては、まだあげたらきりがいい。おまけに自然相手なものだから、気象条件がそろわなければ飛ぶこともできず、一日を棒に振ることも少なくない。

千メートル以上の上空を散歩することが可能である。しかし、そこにたどり着くまでは結構大変なのである。テイクオ

フに失敗して、藪の中に落ちたり、強風にあおられて地面を引きずられたり、ランディングに失敗して木の上にとら下がったりと、まだまだあげたらきりがいい。おまけに自然相手なものだから、気象条件がそろわなければ飛ぶこともできず、一日を棒に振ることも少なくない。

それなのに、何がそんなにいいのだろう。これを始めてからというもの、休みという休みは殆ど費やしてきた。きっと、おばさんになっても、そんな調子だろう。ただ、そこまで楽しめる趣味に出会えたことは、ラッキーだったと思



外来担当医師診療予定

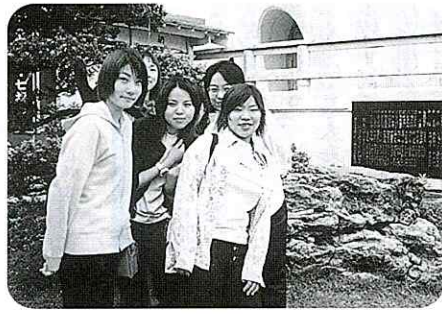
	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	
午前外来	一般	茅野院長 8:30~10:00 高田名誉院長 11:00~12:00 武部副院長 荻野 8:30~10:30	永高 仲	荻野 黒田	武部副院長 本宮	河村 安藤	茅野院長 高田名誉院長 永高
	予約	加藤 永高 (血管外科) 位高 (整形外科)	茅野院長 (整形外科) 高帯 (糖尿病・甲状腺外来) 荻野 (糖尿病・甲状腺外来) 清水 (神経内科・月1回)	高田名誉院長 武部副院長 呼吸器科 加村 (整形外科)	高田名誉院長 茅野院長 江口 (整形外科) 尾野 (神経内科)	高田名誉院長 上野 (整形外科)	荻野 (糖尿病・甲状腺外来) 紫芝 (月1回糖尿病・甲状腺外来) 高橋 佐藤or富岡or松井 (アレルギー・リウマチ科) 小沢 (乳腺外来) 山崎・木原 (泌尿器科)
午後外来	一般	永高 加藤	永高 仲	湯城 黒田	中川 本宮	永高 安藤	永高 野尻
	予約	茅野院長 武部副院長 位高 (整形外科) 古谷 (泌尿器科)	大崎 市場 高帯 (整形外科)	高田名誉院長 (肝臓病外来第1・3週) 藤井 (循環器科)	大崎 (腎不全外科) 荻野 (糖尿病・甲状腺外来) 江口 (整形外科) 尾野 (神経内科) 神経科 (隔週午後又は夜間)	高田名誉院長 上野 (整形外科)	荻野 (糖尿病・甲状腺外来) 紫芝 (月1回糖尿病・甲状腺外来) 高橋 佐藤or富岡or松井 (アレルギー・リウマチ科) 小沢 (乳腺外来) 古谷 (整形外科) 本田 (循環器科) 佐中 (腎臓内科 2ヶ月に1回)
夜間外来	武部副院長 大崎 長谷川	永高 荻野	湯城 市場 呼吸器科 (予約)	永高 中川 本宮 神経科 (隔週午後又は夜間)	加藤 荒井 河村		

\* 診察医師予定に関しては、変更になる場合がありますので当日確認してからご来院下さい。  
\* 部分に変更になっている診察です。

新入職員歓迎

ハイキングに参加して

3B病棟 下田 真砂美  
天気予報では当日は雨であろうと予想されており、朝はどんよりとした曇りがちの天気となりました。途中でリタイヤすることなく、無事に健脚コースを歩きとおす事ができました。ほんの少しだけ体力に自信を持っていた私でしたがさすがに歩き終えた後の足はガクガクでした。しかし、途中で様々な人と話をしながら歩いたり、緑に囲まれたおいしい空気を吸うことができたので、とてもよい経験させていただけだと思います。昼食のジンギスカンでは、私の



ハイキングのあとのジンギスカンは格別!

大好きな食べ放題・飲み放題。二百名以上の病院の職員やその家族が集まり、人数の多さには圧倒されました。

保育士 斉藤 恵

当日は昨夜の大雨が嘘の様に晴れ渡り絶好のハイキング日和となりました。部署が普段は他部署の職員と顔を合わせる事が少なく、改めて病院職員の多さに驚きました。バスから降りると牧場へ続く果てしない一本道に「歩き通せるかな?」と歩く前から不安になりました。はじめはゆるやかな道でしたが、登っていくうちに砂利道と



来ました。その中での新入職員の挨拶はとも緊張しました。しかし、一人一人に皆からとてもあたたかい拍手をしていただき、これでやっと本物の玄々堂津病院の一員になれたような気がしました。今回は、私たち新入職員のためにこのような会を開いていただき本当にありがとうございました。一日も早く皆様の間にとけこんでいけるよう努力していきたいと思っています。

◆新任医師紹介

荒井 武和



はじめまして、帝京大学医学部第二外科より参りました、荒井武和と申します。昨年末まで勤めてい

た荻原先生、白鳥先生の後輩にあたり、現在いる加藤先生の大先輩にあたります。

昨年、大学の医局の四人の先生達と会う機会があり、その時偶然全員玄々堂津病院にお世話になった先生達でした。会話の一部に君津での昔話に花咲く場面があり、君津市および玄々堂津病院の話がたくさん聞きました。最後に、「荒井君、君津はいいところだから頑張ってくださいね。二

から。」と言われました。また、昨年一年間小川先生の下で働いていたので、君津のどこに何があるとか、買い物はどこですと便利などの情報もあつたため、四月からの生活も自然ととけ込め、のびのびと送れています。大学での二年間は玄々堂にお世話になった先生達にお世話になり、成長したと言つても過言ではありません。先輩達に恥じないよう(既に恥じているかもしれませんが)頑張りたいと思います。

◆待ちに待った夏が来た。明日は海の日、目指せ大漁! T・T  
◆夏が来た!今年もまた真っ黒になるでしょう。 H・O  
◆待ちに待った夏が来る。海に花火にドライブ... E・N  
◆海で花火をしながらパーベキユ一って言うのはどう... E・T

編集後記

◆いつも夏は待ち遠しい。子供のころの懐かしい思い出や、楽しい計画を考えたりする。 S・O  
◆人一倍汗かきの私にとって、大変な夏が来た。それでも夏やせしないのが、不思議... H・S  
◆五月病が終わったら今度は夏バテ...元氣な夏を過ごしたいものです。 W・M  
◆大嫌いな夏が来る。早く冬にならないかな... S・K

人事往来

- 看護部  
・2階病棟 青江静子(3階B病棟)  
・3階A病棟 佐々木美奈(4階病棟)  
・3階B病棟 大胡美香(3階B病棟)  
・4階病棟 大友タミ子(4階病棟)  
・4階病棟 柴田純子(木更津クリニック)  
・木更津クリニック 戸倉芳江(4階病棟)  
・君津訪問看護ステーション 竹井由美子  
(木更津訪問看護ステーション)  
\* (一)内は旧所属部署

役職変更

- 医局  
・大崎 慎一 病棟医長  
・加藤 正久 診療技術部 副部長  
・湯城 宏悦 内視鏡室長  
・市場 洋 救急室長  
看護部  
・中田 いと 看護婦長  
・加藤久美子 看護婦主任  
・込宮 啓子 ナースエイド主任  
・福田佳代子 ナースエイド主任  
・粕谷さと美 クラーク主任  
診療技術部  
・立石 好行 臨床工学技士主任  
・斉藤 晃 臨床工学技士主任  
・渡邊 仙志 臨床工学技士主任

サブタイトルは  
モン・サン・ミッシェル

モン・サン・ミッシェル(Mont/St/Michel)はフランス北西部、ノルマンディーとブルターニュとの間に挟まれたサン・マロ湾の南東、モン・サン・ミッシェル湾上の陸地と一本の堤防で結ばれた小島にそびえる修道院で、ヨーロッパ随一の景勝地となっています。島全体が建物になっており、潮の干満により満潮時は島に、干潮時は砂州の上に建つ修道院となり、フランス革命後は一時牢獄となったこともあるそうです。  
七〇八年から七一〇年アブランシュの司教オーベルが大天使ミカエル(サン・ミッシェル)の命によりここに礼拝堂を建てたのが起源とされ、塔の上には大天使ミカエルの像が立っています。



◆肉體改造計画進行中。  
プロポヨのお腹よサラバ。

◆梅雨の合間の落雷と大雨に肝をひやした自分。 M・Y  
◆ヒューマンで、脳のリハビリをしている私です。 N・S  
◆32号も無事発行!私はずばらしく雲隠れします。現実の世界より、逃避行...!? Y・M